

転寝の森

「陸奥の転寝の森のはしたえて 稲あふせ
鳥もかよはさりけり」八雲集、この歌で名
高い転寝の森は、木立の茂る森であった
が、今は見る影もない。かつて八幡太郎義
家が奥州下向のおり、この森で休息し転
寝したところと云う。この森に杉の大木が
あり、義家軍に遅れて馳せ参じた軍勢を
敵だと思い、兵藤太夫正経がこの杉に登り
遠見して、「味方の軍勢にて挨」としたの
で物見の杉と云われた。

いにしへの物見の杉も跡たえて
名のみぞのこる転寝の森 安部正方